

年 組 () 名前

サイン

◆9月8日にラグビーワールドカップ、フランス大会がはじまりました。ことしはイギリスでラグビーが誕生してから200年になります。

ラグビーW杯フランス大会で日本代表（世界ランキング14位）は9月10日、チリとの初戦を迎えました。世界ランキング22位のチリに42-12と危なげなく快勝。勝ち点4を獲得しただけでなく、1試合に4トライ以上を決めたことでボーナスポイント1を加え、勝ち点5と最高のスタートを切りました。

日本はチリに先制されましたが、失点後すぐにアマト・ファカタバ選手がトライを奪い同点に。ファカタバ選手が前半終了間際にもトライを奪い21-7で折り返します。後半も得意の速いテンポの攻

日本初戦快勝

ラグビーW杯



後半にトライを決めるリーチマイケル選手

撃からベテランのリーチマイケル選手たちがトライを奪いました。

日本はなんとこの試合、6本ものトライを奪い、スタンドオフの松田力也選手が6本

のキックを全て決める完璧な試合運びでした。

次の試合は9月17日（日本時間18日午前4時）、世界ランキング8位の強豪・イングランドとの対戦を迎えます。

（2023年9月14日 読売KODOMO新聞より）

【1】写真のスポーツはなんですか。カタカナ4字でかきましょう。

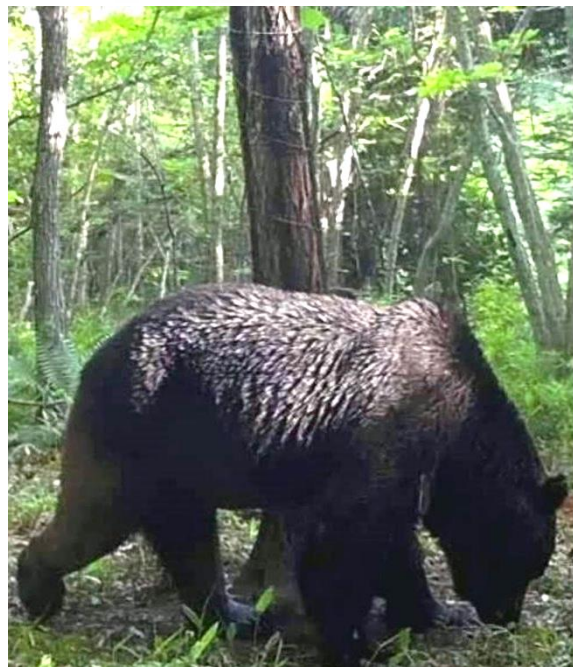
--	--	--	--

【2】あなたの好きなスポーツはなんですか。好きな理由もかきましょう。

年 組 () 名前

サイン

「OSO18」ついに駆除



OSO18と大人の男性との比較

OSO18(推定) 大人の男性

立ち上がると3m近く



◆北海道で「最凶グマ」とおそれられたヒグマの「OSO18」が駆除されました。

7月30日朝、釧路町の放牧地で、エゾシカの捕獲にあたっていた町役場のハンターが1頭のヒグマをライフル銃で仕留めました。DNA鑑定をしたところ、「OSO18」であることが判明したのです。

OSO18による被害は、2019年7月、標茶町オソツベツ地区ではじまりました。これまでに、66頭の牛が襲われ、32頭が死にました。最初の被害場所の地名と、現場にあった足跡の幅が約18cmだったことから「OSO18」と呼ばれるようになったのです。

ヒグマはふつう、木の实を食べ、牛を襲うことはありません。OSO18は、放牧中の牛を好んで襲うことから、恐れられていました。

ヒグマを駆除していいかどうかは、鳥獣保護管理法という法律によって、定められています。間違えて人を撃ってしまったように、夜に猟銃を使ってしまうという決まりがあります。OSO18は、ハンターの目をかいくぐるように夜に活動するため、捕まえることができなかったのです。

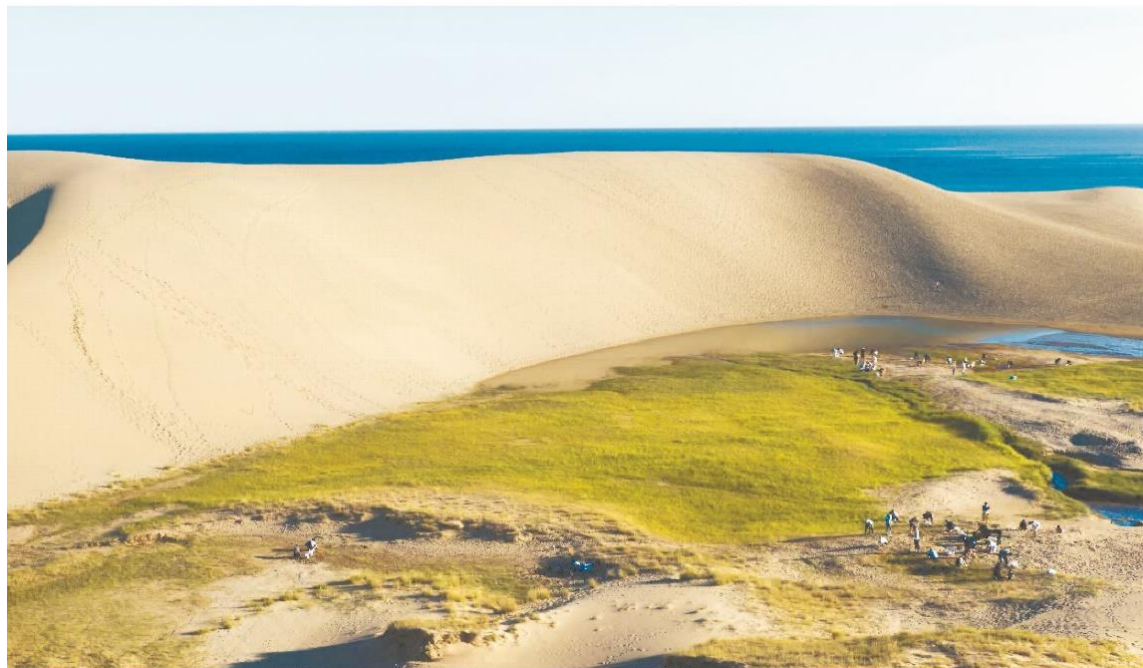
(2023年8月31日
読売KODOMO新聞より)

【1】OSO18が「最凶グマ」と呼ばれておそれられた理由を、記事から書き出しましょう。

【2】クマに限らず、野生動物が家畜や農作物に被害を及ぼすケースが全国各地で報告されています。どのような例があるか調べて、うらに書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



鳥取砂丘 草原化から守れ

◆鳥取砂丘の草原化が進んでいます。

(2023年9月11日 読売新聞夕刊より)

8月初旬、午前6時過ぎの鳥取砂丘(鳥取市)。直射日光が照りつける砂地で、男女約100人が黙々と草を抜いていた。雑草は大きいもので高さ約30センチ。約1時間の作業で計約150平方メートルが茶色い砂地に戻った。

鳥取砂丘と言えば広々とした砂地を思い起こすが、1970年代から雑草が茂るようになった。90年代には砂丘の約4割に拡大したため、県や市などが94年から本格的に除草を開始。2004年にはボランティアによる除草も始まった。希少な植物や昆虫も生息しており、除草の中心は手作業だ。地道な努力が奏功し、現在は約2割にとどまっている。

課題は、草地の面積は変わらなくても、はびこる雑草の量が増えたこと。砂丘の保全と活用を考える官民組織「鳥取砂丘未来会議」事務局を務める県自然共

緑色の草原が広がる砂丘の「オアシス」付近。東京から観光で訪れた女性(70)は、「まず草が目に入った。砂ばかりの景色を期待していたので驚いた」と話していた

生課の玉野俊雅さん(52)は「ここ数年、繁茂密度が高くなっています」と懸念する。

近年の多雨で雑草が育ちやすくなり、イネ科の外来種「チガヤ」などが増えたという。コロナ禍でボランティアに参加する人が減少したのも要因の一つとみられている。

今年5月、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行し、ボランティアによる本格的な除草作業を再開。未来会議は4年ぶりに参加者数が3000人規模になると見込む。

鳥取砂丘はコロナ禍の22年でも約93万人が訪れた人気の観光地だ。魅力は景観にとどまらず宇宙開発技術の研究分野にも及ぶ。県は今年7月、国立公園外に砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」をオープン。砂地を月面と想定した実験場として国内外の企業や研究者が集う拠点づくりを進めている。

玉野さんは「鳥取砂丘は県民の宝。地域全体で未来につないでいきたい」と語った。

【1】鳥取砂丘はどのようにしてできたのでしょうか。調べて書きましょう。

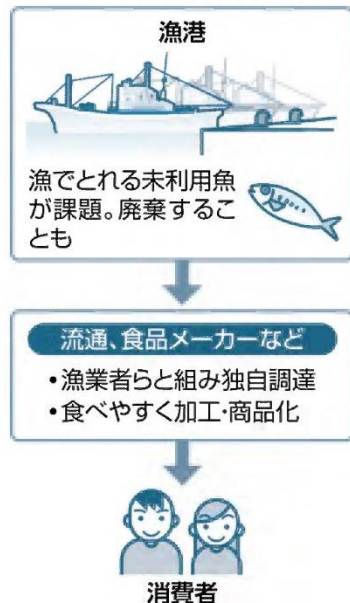
はってん

【発展問題】鳥取砂丘で、なぜ草原化が進んでいるのか、記事を読んで理由を書きましょう。また、鳥取砂丘が今後どうなるか、調べて推測し、裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

●未利用魚活用の仕組み



◆見た目が悪いなどの理由で廃棄されている「未利用魚」を活用する動きが広がり始めています。

愛媛県産のアイゴを使ったオイル漬け。ワインに合うように仕上げた



(2023年8月3日
読売新聞夕刊より)

廃棄減スーパでも販売

未利用魚 加工で生かす



カルチュア・コンビニエンス・クラブ傘下のCCC MKホールディングスは7月、愛媛県八幡浜産のアイゴを使ったオイル漬け、千葉県船橋産のコノシロのやわらか煮の2種類を商品化した。首都圏のスーパーなどで販売されている。

アイゴはカンパチに似た味わいだ。鋭いトゲがあり、鮮度が落ちると独特の臭みが出るため廃棄されることが多かった。これを新鮮なうちに加工し、ワインに合うように仕上げた。

同社は漁業者や水産加工業者と組んで未利用魚の活用プロジェクトを発足。本来なら市場に出回らないアイゴやコノシロを商品用に取分けてもらい、加工した上で出荷している。環境や社会に配慮した「エシカル消費」に関心のある一般の人にも参加を呼びかけ、高橋誉則社長は「社会や地域の課題解決にもつなげた」と話す。

イオンは4月から「トッパリリュ モッタイナイお魚シリーズ」を全国の約360店舗で展開。国産のシイラや干物に向かない小さなホッケを使い、レモンペッパー風味などの味付けをして売り出している。

食品宅配のオイシックス・ラ・大地は7月20日から三陸の穴あきワカメを使ったスナック菓子の販売を始めた。味に問題はないものの見た目の悪さから規格外とされ、多くは地元の漁師が食べたり廃棄されたりするワカメを使っている。

【1】未利用魚を活用するために、どのような取り組みが行われていますか。記事に書かれていること、調べてわかったことを書きましょう。

【記事に書かれていること】

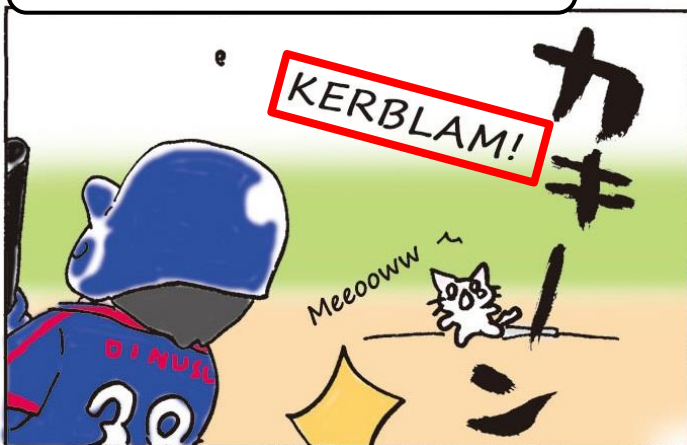
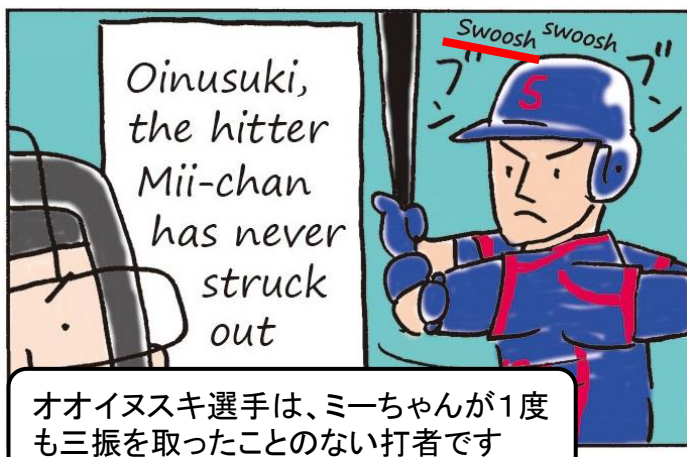
【調べてわかったこと】

【発展問題】未利用魚の消費が拡大することで、環境や水産資源などにどのような利点が出てくるとおもいますか。考えたり、調べたりして、裏にまとめましょう。



年 組 () 名前

サイン



あいて だ しゃ さんしん つぎつぎ う
◆相手打者を三振やフライなど、次々に打
と ち取るミー太郎。しかし、三振を取ったこと
の ない 打者には打たれてしまいました。

KERBLAM

(擬音)ドッカーン

ばくはつおん とつぜん おお おと あらわ ぎ おん
爆発音のように突然の大きな音を表す擬音
カブラム か にほんご
で「kablam」と書くこともあります。日本語で
は「ドッカーン」などで「kaboom」も使います。

★あわせて覚えよう★(擬音)

- ス ワ ッ ク う おと
・thwack ピシヤリと打つ音
- ク ラ ン ク ラ ン
・klang (clang)

ガーン、ガキッ、ガチャン

- ス ウ ー シュ かぜ き おと
・swoosh シュッ(風を切る音)

単語帳

strike out: 三振させる

★なぞってみよう★

KERBLAM

swoosh



みなさんの投票をお待ちしています！

読売新聞は毎年、みなさんの投票でその年の「10 大ニュース」を選んでおり、多くの学校も参加しています。今回は初の番外編として、戦国時代の出来事に投票する「戦国 10 大ニュース」を開催中です。児童・生徒のみなさんは、学校投票専用のウェブ投稿フォームから会員登録なしで投票できます。歴史に興味を持つきっかけとして、ぜひ社会科の授業等にご活用ください。

本郷和人・東京大学史料編纂所教授の監修のもと選んだ 52 項目の出来事から、重要だと思う 10 項目に投票していただきます。「正解」はありません。「どの出来事が、当時の人々やその後の歴史、わたしの住む地域にとって重要だったのだろう」と考えながら、自分なりの視点で投票してください。出来事の背景を調べたり、他の人とも意見を交わしたりすれば、より深い学びにつながるはずです。

授業では習わない出来事も、読売新聞オンラインの特設ページで詳しく紹介しています。9月9日の読売新聞朝刊、9月15日の読売中高生新聞、9月21日の読売KODOMO新聞では、出来事を一覧できる年表や、本郷先生の解説も掲載しています。

投票結果は、11月上旬に各紙とオンラインで発表します。「全10項目的中」した人の中から、抽選で30人に5000円分の図書カードを贈呈します。

投票は10月15日（日）締め切りです！

52項目を紹介した
特設ページはこちらから

[https://www.yomiuri.co.jp/
feature/top10news/special/](https://www.yomiuri.co.jp/feature/top10news/special/)



学校投票用の
投稿フォームはこちらから

[https://forms.office.com/
r/uGZYnwBRWg](https://forms.office.com/r/uGZYnwBRWg)



【投票の注意点】

- こちらの投稿フォームは、児童・生徒・教職員のみ利用できます。その他の方は読売新聞オンラインの会員登録（無料）をして参加してください。特設ページの「投票はこちら」を押すと会員向けの投票ページに進みますので、間違えないように注意してください。
- 投票は1人1回です。ただし、ご家庭で読売新聞を購読されるなどして会員向けの「一般投票」をした人が、こちらの投稿フォームで「学校投票」にも参加することは可能です。
- 本企画は、ウェブ以外での投票は受け付けていません。
- 入力された個人情報は、抽選と賞品（図書カード）の発送以外に使用いたしません。賞品が当選した場合は、学校宛てに連絡します。自由記述のコメントは、匿名（都道府県名・学年・性別のみ表記）で紙面やインターネットで紹介する可能性があります。
- 学校名は「〇〇市区町村立／私立」から「××小学校／中学校／高校」まで、学校で統一した表記で入力するように、児童・生徒にも指導してください。入力を誤ると、賞品当選の連絡や学校ごとの集計ができなくなる恐れがあります。
- 多数の投票をいただいた学校などを紹介する場合があります。その際は、学校宛てに連絡します。